

府美研 研究大会 記録用紙

地区名（泉北）

記録者（筒井美紅）司会者（藤原真子）

授業者（梶村耕平）（相沢里至）

指導助言者（田中圭一）

授業者（梶村耕平）

子どもたちが段ボールを切ってやるといいけど時間はない。ロイロノートで写真撮って共有にしようかと思ったけど、クラスの人数が少ないのでその場で移動◎半分ずつ移動◎完成まで目標にしてなかったが、やりたいやりたいと子どもたちが言ってくれていた。

【質問】

① 縦に作品が伸びたりしたり、いい作品引っ張っていきたい方向性は？

→絵にしてほしい。工作になってはいけない。額縁であること。見本に寄せすぎない。自分たちで考えられるように、見本を最初から出さない。

② 額縁は何で作った？

→ハサミで切った。カッターナイフ×白と茶色にした理由は、少し色が入ったほうが想像しやすい。

③ 材料の段ボールは？

→裁断機で切った。

授業者（相沢里至）

子どもたちが前向きに取り組んでいた。子どもたちのことがわからないので、自分なりに
つくりたいものをつくるということを目指にした。その思いや願いは達成した。自然と拍手
もおきていて、いい授業になった。子供たちの様子が分かっていたら、多様な材料や場所
を変えたりしてもよかった。

【質問】

① 子どもたちが楽しそうで色がなくても十分だった。

→建物が並んでいる町をイメージしていたけど、山などの自然の街をイメージしていた。

② 細かいところまで考えて、いろんなどころから声が飛び交っていて楽しそうだった。計

画を楽しみに考えて、今日それを子どもたちは実行していた。

→計画と今日実行したことが違った子もいた。

③ 前時具体的にどんな造形遊びをしたのか

→段ボールを扱ったことがあまりないと聞いたので、1時間目は、段ボールの中に入った

りしていた。2時間目は、切ったりつなげたりした。

④ 授業の中の評価はどうか

→子どもたちを知らないので、指導するのが難しかった。評価がしにくい。いろんな発想

があったのでみんなすごかった。自分のクラスだったら、言動もふくめる。

指導助言者（田中圭一）

写真撮るだけでは、わからない。授業を見て考えてが府美研。

1時間は難しい。工夫をさせる余地はあったけど、材料をきっちり準備をせざるを得なか

ったと思う。意見を聞き合うのもよかった。造形遊びとして展開したのか気になる。

造形遊びとして展開したのか気になる。

→段ボールで絵が描けるのが造形かなと思う。

絵として、展開してもよかった。作っていくうちに額縁の中に収めるという気持ちでもいいかなと思う。受け止め方を広く持ってもいいかなと思う。

造形遊びを成功させたのは、前時に造形遊びをしたからだと思う。立体か造形遊びかで立体に収めたのはワークシートがあったからだと思う。田舎の町になったのは子供の発想でよかった。共同でしたのがアイデアが広がってよかった。

